

# 夏休みスペシャル**夢大学**（夢を大きく学ぶ）上伊那産学官協働キャリア教育 「モノづくりのプロフェッショナルと出会う旅！」報告

- 1 目的 地域の事業所の経営者や社員の方々の思いを伺う等の様々な体験を通して、生徒が郷土への関心や理解を深めるとともに、自己を見つめ将来を主体的に考える機会とする
- 2 日時 平成27年 8月5日（水）8：30～17：00
- 3 場所 サン工業株式会社⇒横山のアカマツの森⇒山荘ミルク
- 4 参加者 上伊那中学校技術部卒・一般公募卒（中学生49名）  
保護者3名、教職員7名、教育委員会関係者9名、産業界関係者21名（大人合計40名）
- 5 主催 長野県経営者協会上伊那支部、上伊那8市町村教育委員会、上伊那広域連合  
共催 伊那商工会議所、長野県テクノ財団伊那テクノバレー地域センター、ワンプラス
- 6 主な内容

講座名	時間	テーマ	場所・教授
入学式	8:30～	夢大学入学オリエンテーション 「夢・上伊那をガッチリつかみとろう！」	場所：サン工業株式会社 進行：田畑 和輝
1時間目 経営学	9:00～	人とふるさとを大切にす経営 「Yes, I can!」 ✨	場所：サン工業株式会社 教授：川上 健夫
2時間目 モノづくり学	10:00～  11:30～	リアル体験講座（1～3コースすべて体験！） ①「マイストラップを金メッキ体験」 ②「ニホンイチ！の飲むヨーグルト製造物語」 （試飲体験も！） ⇒近隣の「アカマツの森」へ移動・・・・・・・・・・・・・・・・ ③「森の恵みに感謝しながら、 木工製品に変わる過程を学びます」	場所：サン工業+伊那技術形成センター ①の教授：サン工業の皆さん ②の教授：柴 勇一郎 （48 <sup>号</sup> 牧場） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ③の教授：山造り舎、こうあ木工舎の皆さん 川島 潤一（山造り舎） 中村 博（こうあ木工舎）
お昼 くらし学	13:30～	「伊那谷ランチ」 いのち ～生命の食～  おいしい!	場所：山荘ミルク 教授：向山 美絵子
3時間目 人間学 + スイーツ学	14:00～ 	「ふるさとの大人に出会うワークショップ」  おやつタイムは菓匠 shimizu のスイーツパーティー！ ～おいしいスイーツをいただきながら、 みんなで未来について考えます～	場所：山荘ミルク 教授：上伊那で活躍する社会人の皆さん 池上 拓哉（JA上伊那）、 中村 徳彦（中尾歌舞伎） 小宮山 浩 （フォレストコーポレーション） 新保 和利（菓匠 shimizu） 宮下 裕司（南箕輪村） 桃澤 大祐（サン工業） 中村 博（こうあ木工舎） 川島 潤一（山造り舎）  教授：清水 慎一（菓匠 shimizu）
修了式	16:00～	夢大学 エンディング 自信と生きるパワーが湧いてきます！ 	夢大学を支える地域の社会人の 皆さん

## 夢大学入学オリエンテーション



### 1 時間目 経営学

「人とふるさとを大切にする経営  
Yes, I can!」  
川上 健夫 サン工業(株)社長



#### わたしの人生観

- 人生一回
- だったら、自分の思うままの人生を歩みたい
- 悔いの無い人生 ~ ああ、良かったなという充実感のある人生
- それを実現する場がサン工業であれば嬉しい!



人生において大事なことを楽しく  
教えていただきました!

変化は不変

**Yes!  
I can!**

とにかく気合で  
あらゆる仕事に  
チャレンジしよう  
という社風

## 2 時間目 モノづくり学 ①「マイ・ストラップを金メッキ体験」



モノづくり学②「ニホンイチ！飲むヨーグルト製造物語」柴 勇一郎代表



モノづくり学③「森に感謝し、木工製品への変わるまで」山造り舎、こうあ木工舎



「倒れるぞー!!」



間伐の様子を見学。「木は多くの水を吸い上げているんですね。」



何と太田昭宏国土交通大臣や白鳥孝上伊那広域連合長から激励のお言葉をいただきました！

(ありがたいサプライズで、偶然お立ち寄りいただきました)



リニア中央新幹線が通るにあたって、伊那谷に大変注目しています。伊那の未来のために皆さん頑張ってください。

お昼 ぐらし学「伊那谷ランチ」～生命の食～



美味しいランチをいただきながら 教授：山荘ミルク 向山 美絵子さん

3 時間目 人間学＋スイーツ学「ふるさとの大人に出会うワークショップ」

教授：上伊那で活躍される皆さん（ワークショップ担当）菓匠 shimizu 清水 慎一社長（講義）

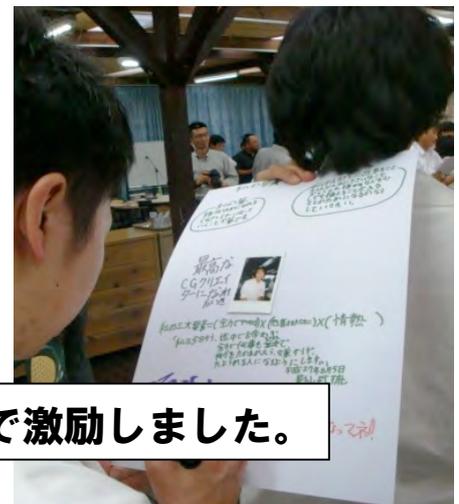


おいしいスイーツもいただきながら、  
みんなで未来について考えました。

夢大学修了式



1人ひとりが決意発表し、みんなで激励しました。



みんなで書き合った、地域の先輩に書いていただいた応援メッセージが力となりました



また来たい！ありがとう夢大学、地域の先輩方！

（中学生の心に火がつき大盛況でした！）



## 総括 今後に向けて

### 成果

#### ①多種多様な地域の大人との出会いの場となった。内容が大変充実していた。

工業、農林業、サービス業等、多くの分野の方にご協力いただき、それぞれの思いを語ってもらった。生徒たちは「大人がかっこよかった。また来たい！」等という大変インパクトのある有意義な出会いとなった。

#### ②「郷土愛」と「生徒の成長を引き出す」等、一貫した理念で全体が展開した。

ふるさとの魅力を伝える観点や、「三大要素」「明日からの行動」として生徒の成長を引き出す観点が全体で共有されており、生徒にとって学びの多いものだった。キャリア教育の観点を踏まえた内容となった。

配慮の必要な生徒や普段目立つ方でない生徒の参加も多かったとの事だが、生徒の意欲を引き出すことが出来た。

#### ③上伊那展開につながった。産学官協働実施できた。

上伊那の市町村、中学校からの参加者、学校の教職員の参加も増えた。打ち合わせ会議にも多くの方が参加し、一緒に作り上げることができた。事業化・予算化により、上伊那全体の運営が昨年よりスムーズにできた。

#### ④学校との連携が深まった。

昨年度の大きな課題であった学校との連携では、「モノづくり」を共通項目に中学校の技術部とのコラボがスムーズにできた。参加者も定員 50 名中、技術部 40 名、一般公募 9 名という数になった。箕輪中学校の五味先生は、10 年次研修も兼ねて主体的な関わりをしていただいた。

#### ⑤保護者が 3 名参加

キャリア教育の全体の課題である「家庭との連携」において、今回 3 名の保護者参加があり、今後の展開につなげていきたい。

### 課題～継続していくために～

#### ①より広く参加者を募るには。

これだけの企画はより多くの人（中学生・教職員・産業界）と共有したい。（すべきでは）

より多様な業種も参画できるように。教職員の為にも実施してほしい。学校行事と一体化にすることで教職員の負担や生徒募集の負担が減るのではないか。（例：上伊那全域でキャリア教育の日として実施できないか？等）

#### ②運営体制

事務局体制は？もう少し役割分担ができれば。伊那市以外での実施もできるように来年度展開したい。（来年以降、キャリア教育交流会開催場所で夢大学企画も実施すると他地域での広がりにつながるのでは。）

企画段階からより教職員や 8 市町村の関係者、産業界の関係者が関わるあり方とは？校長会等への依頼も。

#### ③予算、実施回数

駒ヶ根、箕輪のバスをお借りしたが、広域での展開をする場合もっと予算を持つべきでは。年間予算は今回（1 回の実施）で使い切る形になった。複数回の実施も期待。

#### ④準備期間が短い。実施時期

5 月下旬のキャリア教育産学官交流会から企画すると非常にタイト。このままでは難しい。告知⇒募集・調整⇒集約等が大変難しい状況。

#### ⑤内容について

スケジュールがタイトであった、もう少しゆっくり内容を深めていきたい。

帰宅時間への配慮、グループ分けや導入場面、ワークシートの内容についてよりよくなるように。コミュニケーションが深まる配慮も。（グループごと大人が一人サポートする等）

# 中学生の感想

客観的に振り返るため、すべての中学生に4項目で簡単なアンケートを実施（以下原文のまますべて掲載）

## ①感想

- ・ふるさとに対して強い思いをもって働くことはかっこいいなと思いました。
- ・すごい大人がいっぱいた！彼らのようになりたい。みんな元気だった。
- ・たくさんの人と関わることが出来たので、すごく楽しかったです。今日の事を今後の生活や将来に生かしていきたいです。
- ・夢に自信が持てた。ふるさとの優しさを感じた。
- ・社会人の方や主催者の方が全員とても真剣に答えてくれて、明るくて、とてもよかった。
- ・色々な産業があって、どれもいいなと思った。笑顔で仕事のことを話せるのがいいなと思った。
- ・とても楽しかったです。特に清水社長さんの話がよかったです。高校でもしてほしい。秋にもやってほしい。
- ・来年も行きたいのでぜひ実施してください。ぜひお願いします。田畑さんが来年も司会だといい。
- ・普段、体験できないことがいっぱい体験できた。働くということが知れてよかったです。
- ・すごく楽しく過ごせてよかった。他喜力が印象に残った。
- ・「好きな事を一生懸命」という言葉が印象に残った。
- ・色々な大人の方のお話を聞いて、周りの人をもっと大切にして、地域を大切にしていきたい。
- ・すごく楽しく過ごせてよかった。
- ・色々な人にふれあいながら、発展していくことがわかった。
- ・自分のふるさとを生かした仕事を一生懸命やるのがすごいと思った。
- ・夢に対して真剣な気持ちになった。
- ・Yes、I can が印象にのこった。何かできる気がしてきた。
- ・ケーキおいしかった！金メッキたのしかった！
- ・木を切る所を見たこと、自然に関わることで、ふるさとの良さを感じれた。
- ・料理がおいしかった。長所を伸ばすことの大事さの話が印象に残った。
- ・将来は映像関係になりたいと思って、その業種の話はなかったけれど、とても勉強になった。
- ・夏休みの暇な一日を有効活用できた。面白かった。金メッキやケーキを続けてほしい。
- ・他喜力や人のために働く姿が印象に残った。高校生も対象にしてください。
- ・普段はあまり出来ない貴重な体験がたくさんできた。金メッキをストラップに付ける体験は特に楽しかったです。また、山荘ミルクの周辺の山では木の伐採もしました。迫力があってとてもすごかったです。来年も行けたら行きたいです。
- ・大人、社会人の方々からとても様々な話を聞くことができ、とても将来に向けての参考になりました。いろんな人の体験を聞いてとてもいい勉強になりました。
- ・夢大学に行っているいろんなことを学ぶことができました。体験なども入っていたのでわかりやすく聞けました。
- ・普段、体験できないことを、いくつも体験させていただき、自分の世界が広がった気がします。本当にありがとうございました。
- ・非常にためになる活動だと思った。仕事の大切さ、大変を色々教えてもらった。清水のケーキがおいしかった。
- ・色々な職場でやっていることが身近に感じる事が、できたし、体験できたのでよかった。
- ・金メッキ体験が特に楽しかったです。講師の方たちの講演もおもしろくて、とても良かったです。
- ・普段は身近にあるんだけど、そこまで関心がなかった物を、作っている人の話を聞いて、自分の職に誇りをもっていることがすごかった。あんな大人になりたい。
- ・将来にとっても役立った。色んな学校の交流もあって、会社にもいけたのでよかったと思う。
- ・他の学校の人や実際に働いている人に会って、とっても良い体験になりました。働いている人の話を聞いて、共感したり、どんな人になると良いのかを話してくれて、とっても良い時間になりました。
- ・とても勉強になった。忙しい中、来てもらった方の苦労や努力がとてもわかった。
- ・地域の人たちがどのように、どんな気持ちで働いているかがよくわかった。自分の将来の参考になる良い経験だった。
- ・講師の先生方は、今の仕事に就く前に、色々な仕事や経験をしていて「自分もがんばらなくちゃ」と思いました。夢大学にいけてよかったです。
- ・挨拶「返事」「うなずき」を大切にし、色々な方のお話を聞いたり、実際に色々な体験をしたりして、この伊那

谷の未来について知ることができたのでよかったです。

- ・夢大学に参加して、いろんな仕事をしている人たちの話を聞くことができてよかった。飲むヨーグルトや昼食、ケーキはおいしかったです。金メッキや間伐はとても印象に残りました。
- ・夢大学に行って一番は金メッキを作ったことです。やっぱり物をなにかするのかが好きだから金メッキ作りがめっちゃ楽しかったです。
- ・木を切ったとき、機が倒れるところが想像以上に迫力があってすごかった。あんなに太い木でも、薪にしかならないと言われてきましたが、もっと有効に活用できないものかと思った。
- ・山に入って木を切った時は、なんか迫力があつた。メッキは初めてだったのがうまかった。
- ・普段は聞けないことがたくさん分かって良かった。
- ・夢について改めて考えられて良かった。
- ・初めての参加だったけれど、18金のメッキの体験や間伐の見学ができてよかったと思いました。金メッキがうまく作れてよかった。
- ・とても深くて興味のある体験談などを聞かせてもらいました。特に、山荘ミルクの食についての話はいつもの身近に関する話が聞けて勉強になりました。
- ・暑い中、作業をがんばれた。サン工業株式会で金メッキが上手にできた。山荘ミルクで貴重な話をしっかり聞いた。木を切っているとき、つまようじの木をもらえてうれしかった。作ってみたい。
- ・初めての体験やいつもはできないことをたくさんできたし、人を喜ばしたりしている人たちの話を直に聞けてとても良かったです。
- ・大人の方々の経験や志や故郷への思いを知って学ぶことが出来たのはよいことだけど、はっきり言って、行って良かったと思う点は少なく、金メッキの体験をできたことぐらいだった。
- ・いろいろな先生たちから話をしてもらい、人の生き方、食べ物について、自然について、酪農についてなどとてもよく学びました。

## ②これがあればもっといい、こんな体験をしたい等

- ・金以外の色もストラップに使ってみるとよりおもしろそうでした。
- ・もう少しゆったりと話をする時間が取れたらよかったと思った。ありがとうございます。
- ・少し聞きづらい時があったので、マイクを使ってほしいです。林業などのはノートがとれないので、まとめた紙などがほしいです。
- ・清水でケーキ作りをしてみたい。
- ・もっといろんな会社に訪問したいと思った。
- ・実際に作る や お仕事の体験をしてみたいです。
- ・とても面白かったのでこのままで。
- ・今回の体験はどれもよかったので、これにもっと工夫をいれればいいと思う。
- ・近くの木で、ものづくり体験があれば良いと思います。
- ・生徒たちがもっとたくさんの体験をすることができれば。自分がやってみることで理解がより深まるのかなあと思いました。
- ・金メッキをつける体験がとてもよかったので、そのようなものがあればもっといいと思う。あと間伐もとても迫力があってよかったので、それもあればいいと思いました。
- ・話もしっかり聞けたし、いい話ばかりだったけれど、もう少し何か体験できるようなことがあればいいなあと思いました。
- ・森に行くのであれば、最初から運動着で来るべきだと思ったのと長靴よりも汚れてもよい動きやすい靴がいいと思った。もっと余裕があって、時間調整がしやすいスケジュールにすべきだと思う。暑い森の中に行くよりもサン工業の社内見学などをもっとしたかった。
- ・木の加工を体験してみたい。
- ・森に入るときは、制服ではなく運動着で、メッキ以外に木工で何か作るなど。
- ・1つ1つの時間をもう少し長くしてほしい。
- ・ストラップ以外の物もメッキしたい。
- ・ロボットなどに使う基盤などを作る工程などを見学してみたいと思った。
- ・林業で、植林などもできると良いと思いました。

### ③特に印象に残ったこと、言葉などは何ですか？

- ・他喜力で、他人を喜ばせる力という意味でとても良い力だと思います。だから自分もこの力をつけたいです。
- ・自分の人生だから最後は自分が決める。
- ・Yes, I can.～サン工業より～
- ・木を伐採するところなど
- ・他喜力（6名）
- ・「生命の命」
- ・「他喜力」と「自喜力」（3名）
- ・人生は一度だけ、だから大切に大切に（2名）
- ・清水社長の夢には2種類あり、1つは野望、もう1つは志、2種類を両立させることで、とっても良い人間になれる。
- ・働くとは、傍を楽にすること。他喜力で生活していく。
- ・夢は言葉にだせば叶う！
- ・株式会社サン工業 代表取締役 川上さんの「ナンバーワン」より「オンリーワン」
- ・夢
- ・清水さんの「他喜力」という言葉が一番心の中に残っている。
- ・金メッキをする時、その前に別の金属でメッキをするということが体験の中で一番印象に残った。
- ・清水社長の話
- ・「夢は必要ない」という言葉が印象に残った。
- ・清水の社長さんが言っていた「努力は伸びる」という言葉が印象的でした。
- ・野望、志
- ・木を切って倒したときの音などがかなり大きかったことです。

### ④働くことやふるさとの「良さ・感動・魅力」を感じたことは何ですか

- ・ふるさとのものを食べたり使ったりするのは、とても良いことだと思ったので僕も見習っていきたい。
- ・みんな生き生きと語ってくれたこと。
- ・自分の住んでいる所のものや食材を使っている所がとても魅力的でした。
- ・自然に触れながら働くことができること。
- ・講師の皆さんの話してくださる、苦労したこと、良かったことを聞いた時
- ・「働く」とは、とても魅力的だと思った。
- ・働くことに誇りを持っていること。
- ・伊那谷は、色々な分野の人たちが働いているということ。
- ・こんなに働くことに、誇りを持っている人を初めて見た。
- ・自然を感じながら働くということを感じた。
- ・山にかこまれて、空気が良いこと。
- ・農家は少ない数しかないけど、すごくがんばっていること。
- ・ふるさとの魅力は、木に囲まれて、ものづくりがたくさんできること。
- ・ふるさとは自然がたくさんある。というところを魅力に感じました。
- ・昼食からふるさとのよさを感じた
- ・木を切る時とか40～60年たった木を切ることに魅力をもった。
- ・職業に就き働いているとより深い知識を身につけられるということが、金メッキを指導してくださった社員の話で感じられた。
- ・自然を残す。
- ・ふるさとは自然が多い。
- ・努力をすれば、夢はかなうことが改めて分かって良かった。
- ・今自分がいるところももともとは山だったから、その山の部分を分けてもらっているということだから、すごく感動した。木の役割を知った。
- ・辰野町は田舎でも、小さな市街地とも思えるから、辰野町を大切にしていきたい。
- ・どの人も、お客様を喜ばせたり、人の笑顔を見たりするために働くということがわかった。
- ・働くことによって、ふるさとをよくするということを感じた。

## 学校の先生からのアンケート結果

項目は①感想②今後に向けたアイデア③5段階評価点（5が一番高い）で実施

### 中学校教諭

①本当に貴重な体験を生徒にさせていただきありがとうございました。体験と「大人が本気で伝えたいこと」が合体すると子どもの心にはダイレクトに届くんだなと目の当たりにした気持ちです。木の倒れる音、メッキが金色に染まる瞬間、ヨーグルト、ケーキ、おいしいお昼が、体にメッセージを伝える瞬間・・・大人の人の力ってすごい！それを受けとめる子どもの心ってやわらかい！！ですね。夢大学の3期生はどんな子が来るか、楽しみです。

②やっぱりもっと多くの教員に来て欲しい！！というわけで、来年かなうなら教員の為のこういう時間が取れないものかと思います。教員ってやっぱり「人に教える」ことばかり考えて、大切な「人から教わる機会」を大切にできていないように思います。

③5, 5, 5

### 中学校教諭

①多感な中学生を対象にしたこの「夢大学」の企画はすごいと思います。今日のこの体験やお話は、きっと参加した子どもたちにとってとても貴重な体験になった（なる）ことと思います。直接、自分の将来（未来）の夢や進路（職業）選択には、結びつかなくても、これからの自分の生き方や人生を豊かにするきっかけになったと思います。本日のテキスト（資料）の編集のとてもいいなあと思ったし、なにより司会役のお二人の進行がとてもよかったです。

②今回は、本校の技術部にお声掛けをいただき、11名の生徒が参加させていただきました。また、来年もぜひお願いしたいところですが、他の子どもたちにもっと思うと、もう少し早時期（6月下旬～7月上旬頃）にご案内をいただけたらいいかなと思います。また、3年生を対象に一般枠がありましたが、夏休みということであれば、中学2年生の方が参加希望が多いのではないのでしょうか。

③5, 5, 5

### 中学校教諭

①地域で夢をもって活動している各界の講師の方に熱く語っていただき、刺激を受けたと思います。こういう大人の姿にふれることで地域を愛し、そこに住む自分や自分らしさを認めることができ、キャリア発達を促すことにつながると感じます。このような機会を積極的につくっていただき、ありがとうございます。

②移動がある日程なのと、講師の方の思いの強さや伝えたいことの内容を考えると、半分くらいのことを1日でやってもいいのかなと思いました。とても素敵な企画なので、目的を周知することと、学校のキャリア教育の計画に加わるような形で、各学校が考える必要があると感じています（これは、我々がすべきこととして）

③5, 5, 5

## 行政関係者からのアンケート結果

### 県教育委員会

①魅力的な講師の方々に導かれ、あっという間に時間が経ちました。工業、農林業、サービス業等と内容が濃厚でかつそれぞれの方がそれぞれの信念や思いがあり、よくぞこれだけの方が集まり、そして一つの企画としてまとまることに、心から感服しました。また、一つ一つの授業が「三大要素」と「明日からの行動」という視点が貫かれており、そうした中からもプロジェクトのポリシーを感じました。並々ならぬ決意と実践の具体を県教委としても広く発信していけたらと思います。

②幅広い職種の大人や人生に出会わせたい気持ちは共鳴しますが、盛りだくさんで少し日程がタイトかも知れないと思いました。

もう少しじっくりと一人の方とふれあい、お話を再度噛みしめ、今までの自分と重ねる時間、前の講義とつなげていく時間が確保されると更に深まると思います。いずれにせよ、素晴らしい取組でした。

③5, 5, 5

## 上伊那広域連合

○入学式・オリエンテーション 初対面の中学生もいるので、導入のこの時間の使い方は重要な気がします。今回も技術部などまとまったの参加と、少人数での参加など生徒の参加への気持ち（緊張感）それぞれ違うような気がします。グループ分けについては、少人数の参加の生徒は（あえて別グループにしているのは承知していますが、）同じグループにしてあげてもいいのではという気もしました。

○1時限「経営学」 川上社長のお話しはもう5回～6回はお聞きしていますが、大変苦勞されている方ですので（それを苦勞しているように話さないところが凄い）、心に染みます。人って考えればこの世に生まれてくるのが、既に奇跡なのですから、君たちはオリンピック選手よりも凄いんだ、と言われれば子どもたちもいろいろなことの大切さがわかるかと思えます。上伊那には世界中の製品に使われている凄い製品を作っている企業がたくさんありますが、パーツメーカーがほとんどで、子どもたち（大人たちもです!）は凄い企業があることを知りません。サン工業さんのようにきらりと光るいい企業が上伊那にもたくさんあることを、子どもたちに知ってもらうのは大変有意義なことです。

○2時限「モノづくり学」 ・メッキ体験 モノづくりにおける実体験は非常に大切なことですね。普通の工場ではあのような体験は出来ないの、貴重な体験になったと思います。

柴さんのお話～農業って、我々の命を支えている職業なのに、知らないことも多いですし、若者のなり手が少ないですね。もちろん生活するだけの対価が得られなければ、職業に出来ないのですが、若いのに頑張っている柴さんのお話しは子どもたちにとって刺激にもなると思えますし、職や農業に対する考え方も変わってくるのではないかと思います。・森の恵み体験～木を切るところなど大人の私たちでも見たことがありませんから、山に入って木を切るところを実際に見たことは、子どもたちにとってもいい体験だったのではないかと思います。食もそうですが、地元の木で作ったものを地元で使うことが一番いいことだし、子どもたちも体験や話を通して林業の重要性を感じたのではないかと思います。

○お昼「生命の食」食についていえば、出来るだけ地元で採れたものを、素材そのままの味を活かして、新鮮なうちに食べるのが一番なので、ミルクさんで体にいい昼食をいただき、向山さんのお話しを聞いたのは、ファストフード世代の子どもたちにとっていい機会だったのではないかと思います。

○3時限「人間学」①ワークショップ少人数のグループごとに、大人から仕事を含めた人生の事を聞けるこのワークショップは、夢大学の中でも非常に大切な時間だと思っています。身近な距離でいろいろなことを聞き、また子ども達からもいろいろと聞くことができ働くこと、生きることについて深く考えることができたのではないかと思います。②清水さんの話 清水さんのお話では、物事への取組み方、考え方を学んだのではないのでしょうか。人生は自己的にばかり考えていても、ハッピーにはなれないことを分かったのではないかと思います。

○出航式 まとめ時間として、子どもたちにとってもいい思い出になったと感じます。

○全体を通して 夢大学今回も大成功でした。ただ、今回も中身が濃く、一日のプログラムとしては少し内容が多かったのかなと思います。少しプログラムを削って、一つ一つをじっくり取り組んでもいいのではないかと思います。ずっとモノづくり中心のプログラムでやっていますので、技術部中心の参加になっているのかと思いますが、多くの職業を知るという面からすると、商業や金融、医療、介護、福祉分野などのプログラムも取り入れていって欲しいと思います。特に先日いなっせで開催された「ふるさと就職説明会」などでも、介護関係のブースにはほとんど学生がいなかったことから、就職に対しての求人側と学生側とのミスマッチがあると感じています。

## 上伊那市町村教育委員会

①大変充実した内容で、子どもたちが仕事に対する考えをめぐらせ、ふるさとへの誇りをもつとともに思いを深めることにつながったものと思います。あれだけの内容を一部の生徒にすることは、もったいないと思いました。上伊那のすべての子どもたちに体験させたいものであると思いました。

ふるさとへの誇りと高い理念をもって仕事をされている皆さんの生き方に感服しました。利益をあげる事が目的ではないという企業経営の在り方や子どもたちへの思いが上伊那全体のものになることを願います。

②・上伊那の全中学生に体験させたいと夢は広がりますが、できることから少しずつこの火種を広げていくことかと思えます。そのためにもこのような企画に、企業関係者、学校の先生方に一人でも多く参加していただき、この企画の素晴らしさを体感していただくことが必要でないかと思います。

・内容が盛りたくさん気味で時間が押し気味でした。内容をしばって1つ1つの中身を充実させることがよいかと思えます。

③5, 5, 5

## 上伊那市町村教育委員会

①経営者協会、ワンプラスのパワーを感じる充実した一日であったように思います。あれだけの大人が中学生のために集まる、集められることのすごさを改めて感じます。技術部の生徒を中心に多くの中学生が参加してくれたこともすごいことだと思いますが、参加者をどう広げていくか、職業や上伊那の人材確保・流出抑制が前面に出すぎない（大きな課題でもあります）キャリア教育（学習）に向けていくことも必要ではないかと感じています。

②内容的には大変すばらしいひとつひとつの企画ですが、盛り込み過ぎのように思います。駒ヶ根の帰着は6時45分過ぎでした。7時前に家を出る生徒もいた中、昼食が2時近くというのも考えるべきこととも思います。「大人から伝えたい。伝えなければ」との思いが強いのですが、大人目線になっていて、中学生のペースになっていない面もみられます。産学官キャリア教育交流会にも感じましたが、「ゆとり」をもって進めることで「かみしめる」時間ができるのではないのでしょうか。引率者や主催者、教育委員会関係者がどう関わるか（当日の動きの中で）考えられたい。工夫されたワークシートだが、中学生はなかなか聞きながらメモを取ることが難しい。中学生のシートとしてどんなものがよいか考えたい。

③4、3、3

### 上伊那市町村教育委員会

①今回も多くの皆様のお力添えのもと、素晴らしい大きな企画ができたと思えました。

中学生の学びも深い様子が見受けられました。大人として地域の子どもたちに伝えなければならない価値・心意気があることも再認識しました。また、一つのイベントを作り上げることで、産学官や企業間で情報交換や意見交換の場となり、「次世代育成」「地域活性化」の上伊那の全体の熱が上がり、より良い地域づくりにつながる機会になる気がしました。このような広域での産学官協働企画はとても重要であると実感しています。

②運営（事務局）部門として、主体的に動くのはどこであるか曖昧で運営側の負担はとても偏りがあるように感じました。広域として8市町村、産学官協働へと動きを進めることはよいのですが、これから浸透させるのであれば、各組織との合意形成と確かな役割分担ができるとうよいと思います。また、学校代表と教育委員会代表も企画・検討段階に必ず参加してもらえらるステージ作りも必要かと思えます。新しいことや拡大することも大切ですが、ここまでできたこと（全国的にみても貴重な実践）を大切に、もう少し丁寧な議論や準備ができるようになると継続性が高まると思えました。

③5、5、5

### 上伊那市町村教育委員会

①今年も充実した1日でしたが、アツさとハードスケジュールで特に後半はバテ気味になったのは私だけでしょうか。でも、生徒たちは最後までしっかり参加していたので感心しました。最後のまとめをみましたが皆、講師の話を真摯に受け止め、今後の指針としている生徒が多いと感じました。子どもたちの純粋さに感心しながらも教育の影響力を改めて実感しました。

②企画から実施の期間の短さと立ち上げの経緯もあって、一般公募の募集の仕方が難しく、当村からの参加生徒はゼロでした。3年生に限定したことも影響したかと思えます。次回からは、全市町村がまんべんなく参加できる体制にできたらと思えました。今後他市町村での実施に向け、伊那市以外での講師としてふさわしい人を探す段階にきており、皆でアンテナを張り、情報交換ができればと思います。

③5、5、5

## 企業の方のアンケートより

### 受入れ企業

①プログラムとすると大変充実した内容となっていたと思います。ただ、欲張りいっぱいというかなりタイトなスケジュールだったので、もう少し余裕があってもいいのかなという感想です。子どもたちは大変前向きで好感がもてました。

②前回も今回も対応させていただきましたが、もっといろいろな企業に参加してもらった方がよいような感じもします。今後検討願います。この企画も素晴らしいと思いますが、参加したかったけど、案内や応募がどこで行われたかという声もありました。せつかくの良い企画ですので、少なくとも多くの生徒に平等に広報される通知方法を検討する必要があると思えます。

ワークショップ講師

①印象に残った体験を生徒に尋ねたところ、ほとんどが金メッキ体験を上げていました。講師としてお昼からの参加でしたが、朝のスタート時から参加すれば、生徒とよりコミュニケーションが取れたのではないかと感じました。

・実際の「仕事」の話に対して生徒の関心は高かったと思います。「私がふるさとにできること」欄への「地元の食材を食べる」「地元産を使う」等の記載を見て、各講演の内容を理解していると思いました。

・チーム内のディスカッションや質問がしやすい雰囲気を整えてあげればよかったですと思います。

②・宣言ボードに応援メッセージをお互いに書きあうことはとても良い取組だと思います。チーム代表による全体への宣言後、各チーム内で全メンバーが宣言を発声しあってもよいと思います（思いを声に出す）終日にわってチームをフォローする大人がいてもよいと思います。「小道具」「飛び道具」があれば生徒の関心がより高まりやすいと感じました。「ではこれから〇時までの△分間、お話を聞きましょう」等の時間案内があってもよいと思いました。

# 職業観 郷土で養う

## 伊那で 夢大学

中学生が地域の企業を知り、職業観や郷土愛を養う「夢大学」が5日、伊那市で開催された。県経営者協会上伊那支部、上伊那8市町村教育委員会、上伊那広域連合が主催。上伊那地方の中学1〜3年生約50人が参加し、さまざまな業種の経営者や社会人から話を聞いた。ものづくり体験を通じ、地元企業や郷土への理解を深めた。(高木敏雄)

人口減少が進み、次代を担う若者の確保が課題となる中、子どもたちが郷土への関心を高め、将来を考える機会にする狙いで、産学官が連携して昨年度から開催。当初は伊那市主体で取り組んでいたが、今年度は初めて上伊那全域に拡大して行った。

めっきや金属表面処理のサン工業では、川上隆夫社長(65)が講師。「人生は1回。悔いのない人生、充実感のある人生を送りたい」との人生観を示し、生徒たちにはヒット曲「世界に1つだけの花」を聞き合い出しながら「オンリーワン」を目標として自分を磨き、好奇心を持ってさまざまなことにチャレンジするよう呼び掛けた。

続いて、生徒たちはストラップのアクセサリーの金めっきに挑戦。ニツアルめっきで下地処理を



金めっき処理を体験する生徒たち

## 上伊那の中学生 ものづくり体験

した後、金を溶かし込んだめっき液の中に入れた。電気を流すと、みるみるうちにアクセサリーの表面が金色に変化。「すごい、すごい」と歓声を上げた。

賞輪中2年の千葉典胤さん(13)は「学校では習わないことを見たり聞いたりすることは楽しい」と目を輝かせ、「将来のことはまだ分からないけど、人生は1度だけ、悔いのない人生を送ることが大切」と話があども印象に残ったと話していた。

同支部は「進学して地域を離れる若者が多いが、何か戻ってくることを願っている。伊那谷にはすぐきな会社、経営者、先輩がいることを知ってもらい、これから社会人、職業人として成長していくためのヒントにしてほしい」と期待している。



## 上伊那で将来の姿考えて 「夢大学」中学生、企業で仕事体験

県経営協会上伊那支部や上伊那8市町村教育委員会など5日、中学生を対象にしたキャリア教育「夢大学」を伊那市の企業で開いた。地域を働社会の話や、作業体験を通じ、将来について考えをもちたい企画。8市町村教委が協力するのは初めてで、同地の中学生約50人が参加した。

金メッキ体験を志す中学生

メッキ処理加工のサン工業(伊那市西箕輪)では、メッキ加工について学んだ。従業員が、電気や化学反応の加工する仕組みを説明。その後、生徒たちは従業員の手導で、ストラップにめっきやろうの形をした金のメッキを体験した。

賞輪中賞輪中2年の山森輝君(13)は「今まで知らなかったメッキのやり方を知ることができて良かった。同中2年の城取拓海君(13)は「銀色だったストラップが液体に入れたらすぐに金色になったのがすごい。驚いた」と話していた。

